JHL NEWS

No.15
2009年12月14日
●発行●
日本ハンドボールリーグ委員会
委員長・高村 誠一
東京都渋谷区神南1-1-1
電話　03-3481-2494

勢いあふれるトヨタ車体が湧永製薬に快勝！

～第34回日本ハンドボールリーグ・第14週～

第34回日本ハンドボールリーグ第14週は愛知などで男子４試合が行われ、プレーオフ争いでしのぎを削る湧永製薬とトヨタ車体の対戦は、６連勝で２位に浮上した車体がスタートから勢いあふれる攻守で主導権を握り、33－26の快勝で貴重な勝利をものにした。そのほか首位の大同特殊鋼、大崎電気、トヨタ紡織九州が下位チームを相手に順当勝ちした。

高知での湧永－車体戦は、車体がGK木下を中心とした堅いディフェンスから高智、銘苅らの５連続得点で試合の流れを一気に引き寄せた。湧永も武藤のポストシュートで得点を返すも、車体の勢いの前にディフェンスがうまく機能せず、20分過ぎには７－16と９点リードを奪われ、このあとも高智、門山らの活躍でがっちりペースを握った車体が21－12と大きく水をあけて前半を折り返した。湧永は後半に入り、ＧＫ松村のファインセーブもあり、スピーディな展開をみせて逆襲に転じたが、車体ＧＫ・坪根の前にチャンスを阻まれたのが痛く、連勝で波に乗る車体が危なげなく８勝目をマークした。４本の７ｍスローを含み12得点をたたき出した車体・銘苅の活躍が光った。

愛知・稲沢での豊田合成－大崎戦は、内田、小澤のサイドシュートなどで加点する大崎に対し、合成も芳仲のロング、森光のサイドシュートなどで応戦、両チームＧＫのナイスセーブもあり引き締まった内容となり、前半は12－11と大崎リードで終了。後半出だし、合成は中島らの３連打で14－13と逆転すると、ここから大崎も奮起、小澤のサイドシュートなどで11分までに８点を連取、その後も手堅いディフェンスからの速攻などで得点を重ね、合成の反撃を許さなかった。

愛知・三好では紡織－北陸電力、大同－琉球コラソンの２試合が行われた。まず、前週で首位の大同に黒星をつけた紡織が、北電を相手に村上直、村上秀のサイドシュート、速攻での得点で好スタート。さらに７分過ぎの北電・落合の退場に乗じて海道の速攻などで効果的に得点を奪い、14分10－３と主導権を握った。追いすがろうとする北電だったが、紡織の４：２ディフェンスを攻めあぐね、またＧＫ松野のファインセーブもあって点差を縮めることができなかった。その後も呉のカットイン、中畠のミドルシュートなどで着実に加点した紡織が16－９とリードして前半終了。後半に入り、桜井のミドルシュート、山原、髙橋らの得点で反撃した北電に対し、西端、村上秀らの活躍で優位をキープした紡織が前半の貯金を生かして32－23で逃げ切った。

大同－琉球戦は白、末松の両エースの華麗なプレーで先行する大同に対し、琉球も内山、水野裕矢の速攻などで追いすがる展開となった。大同は10分過ぎから末松、白に加え、千々波、地引らを絡めた多彩な攻撃で着実に点差を広げ、大同の高いディフェンスの壁をなかなか崩せない琉球に21－９と12点差をつけて前半を終えた。後半も末松らの４連取で好スタートを切った大同に対し、琉球は村山、高田らの必死の得点で応戦するも、15分過ぎに退場者を出し、さらに苦しい戦いを強いられた。結局、終始主導権をキープした大同が余裕あふれる戦いぶりで37－19で圧勝、白の日本リーグ通算800得点達成（男子で３人目）を貫禄の大勝で飾った。

㊤湧永製薬に快勝してプレーオフへ大きく前進したトヨタ車体・門山㊦男子で３人目の通算800得点を達成した大同特殊鋼・白

第15週の日程

1月16日(土)	岩手	岩手県営体育館(IGR岩手銀河線青山駅徒歩5分)	14:00～	(男)	大崎電気×湧永製薬
	佐賀	トヨタ紡織九州クレインアリーナ(JR長崎本線神埼駅車10分)	15:00～	(男)	トヨタ紡織九州×豊田合成
	沖縄	沖縄県立武道館(沖縄都市モノレール奥武山公園駅徒歩5分)	13:00～	(男)	琉球コラソン×北陸電力

新春第１戦に男子の大一番

第34回日本リーグは、12月16日から20日にかけ男子の全日本総合選手権が東京で、同24日から27日にかけ女子の全日本総合選手権が香川で行われ、年末年始もはさむため、約１ヵ月間のブレイク期間に入り、次の第15週は新年１月16日の開催となる。

男子のプレーオフ争いは、すでに大同特殊鋼がレギュラーシーズン４位以内を確定させ、決戦キップを獲得。12月13日のゲームで湧永製薬を破り、勝点を16に伸ばしたトヨタ車体も残る３試合のうち、上位陣との戦いは大同戦を残すのみ。よほどの乱れがない限り、プレーオフ進出は堅そうだ。

これで大崎、トヨタ紡織九州、湧永が残る２枚のキップを争う形となり、直接対決も残されている。上記のとおり、車体に敗れて苦しくなった湧永は、リーグが再開となる１月16日、岩手で大崎と対戦。翌第16週にも紡織との激突が待ち受けるが、大崎、紡織が残す対戦相手から考えても、湧永はまず大崎戦で悪くとも引き分けて勝点をつかまないと、早々に窮地に追い込まれることとなりそう。大崎も勝点を落とすと苦しくなるだけに、プレーオフ進出キップをかけて激しい火花が散る大一番に。このカードが第15週最大の見どころとなるのは間違いない。

新年１月23、24日の第16週から再開される女子は、７勝２敗の勝点14で並走しているオムロン、北國銀行、ソニーセミコンダクタ九州の３強の優位は不動。プレーオフ決勝で準決勝の勝者を待ち受けることができるレギュラーシーズン１位の座をめぐる争いが終盤戦の焦点となる。

◆ 12月12日(土)　男 子
愛知・稲沢市総合体育館

大崎電気 7勝1分3敗　30（12－11 / 18－8）19　豊田合成 2勝2分7敗

	9/12	小　澤	榊　原	0/ 0	
	2/ 3	中　川	原	1/ 1	
2/2	3/ 7	豊　田	後　藤	0/ 0	
	2/ 2	望　月	大　橋	0/ 1	
	1/ 1	永　島	桶　谷	3/ 6	
	0/ 1	横　地	中　島	2/ 6	
	K	東	森　光	1/ 1	1/3
	0/ 1	森	藤　田	K	〈0/3〉
	4/ 6	岩　永	今　村	7/13	
	2/ 2	夏　山	中　村	0/ 4	
	0/ 0	秋　山	芳　仲	3/ 5	
	3/ 5	内　田	藤　堂	K	〈0/1〉
2/2	0/ 2	猪　妻	米　本	0/ 0	
〈2/3〉	K	吉　田	畠　中	1/ 2	

4/4　26/42　7(FPP)3　18/39　1/3
審判（油上・中村）　観客　683人

◆ 12月12日(土)　男 子
愛知・三好公園総合体育館アリーナ

トヨタ紡織九州 6勝2分3敗　32（16－9 / 16－14）23　北陸電力 0勝1分11敗

〈1/2〉	K	松　野	髙　橋	6/ 8	
	2/ 6	中　畠	神　田	2/ 5	
	1/ 1	西　端	落　合	4/ 5	
	5/ 7	村上直	桜　井	2/ 7	1/2
	0/ 1	松　信	前　田	0/ 1	
	7/10	村上秀	高　田	1/ 1	
	3/ 9	呉相民	杉　山	1/ 2	
	2/ 2	佐久間	表	0/ 0	
	0/ 0	鶴　田	山　原	5/ 9	
	5/ 5	海　道	松　岡	0/ 0	
	0/ 0	阪	丸　山	K	〈0/1〉
	K	谷　川	石　塚	0/ 0	
1/1	3/ 6	藤　山	櫛　田	1/ 1	
	3/ 4	石　黒	有　江	K	

1/1　31/51　7(FPP)12　22/39　1/2
審判（浜田・小笠原）　観客　431人

◆ 12月12日(土)　男 子
愛知・三好公園総合体育館アリーナ

大同特殊鋼 11勝0分1敗　37（21－9 / 16－10）19　琉球コラソン 1勝1分8敗

〈0/1〉	K	田　中	久　高	0/ 0	
	3/ 6	野　村	村　山	1/ 7	2/2
1/1	10/12	末　松	水野矢	4/ 9	
	2/ 2	浦　田	玉　城	0/ 0	
	5/ 8	地　引	池　田	0/ 0	
	4/ 9	武　田	志慶真	3/ 5	
	1/ 3	岸　川	内　田	K	
	K	高　木	内　山	2/ 3	
	1/ 1	千々波	高　田	2/12	
	2/ 2	山　城	石　田	K	〈0/2〉
〈0/1〉	K	東	水野紀	5/ 9	
1/1	5/ 6	白元喆			
	2/ 4	松　永			
	0/ 3	渡久川			

2/2　35/56　6(FPP)8　17/45　2/2
審判（杉山・各務）　観客　512人

◆ 12月13日(日)　男 子
高知・高知県民体育館

トヨタ車体 8勝0分3敗　33（21－12 / 12－14）26　湧永製薬 5勝1分4敗

	K	木　下	志　水	K	〈0/1〉
	0/ 2	石　戸	谷　村	0/ 6	
	3/ 4	佐々木	木　村	1/ 1	
	6/11	高　智	坂　本	1/ 4	
	0/ 0	野　村	濵　本	0/ 0	
	1/ 3	藤　田	山　中	4/ 6	
	0/ 0	髙　木	福　田	0/ 1	
	0/ 0	小　沢	名　嘉	0/ 2	
	2/ 3	鶴　谷	新	5/10	
〈1/2〉	K	坪　根	武　藤	3/ 6	
	0/ 0	香　川	今　井	3/ 3	
	3/ 4	崎　前	松　村	K	〈0/3〉
4/4	8/16	銘　苅	古　家	3/ 9	
	6/11	門　山	東長濱	5/17	1/2

4/4　29/54　12(FPP)20　25/65　1/2
審判（藤井・大熨）　観客　643人

大　崎　電　気

“大崎オーソル”を積極アピール！

私たち大崎オーソルは地域密着型のチームとなるべく2004年にサポーターズクラブを設立。埼玉県各地の小中学生を対象としたハンドボール教室の開催や地元イベントへのゲスト出演など地域に根ざした活動を着実に行ってきました。

８月末、その地域密着活動の一環としてオーソルが日頃トレーニングしている体育館の最寄り駅であるみずほ台駅西口ロータリー広場において開催された第28回みずほ台祭りへ参加してきました。

会場では選手がユニフォーム姿で商店会の露店のお手伝いを行い、大声コンテストへの出場やハンドボール体験コーナー、デモンストレーション等を通じて、子供から大人まで幅広い年齢層の地域の皆様に積極的にチームの存在とハンドボールをアピールしました。

今後、日本リーグでの活躍はもちろん、ますます地域の皆様方との連携を深め、ハンドボールを通じた地域貢献活動を行い、地域の代表として皆様に愛され、応援していただけるチームを目指す大崎オーソルの活動にどうぞご注目ください。

男女個人ランキング　第14週終了

得点王

《男子》

1	末松　誠	（大同特殊鋼）	98 点	(12試合)
2	門山　哲也	（トヨタ車体）	77 点	(11試合)
3	今村　彰伸	（豊田合成）	64 点	(11試合)
4	銘苅　淳	（トヨタ車体）	60 点	(11試合)
4	豊田　賢治	（大崎電気）	60 点	(11試合)
6	武田　享	（大同特殊鋼）	56 点	(11試合)
6	中畠　嘉之	（トヨタ紡織九州）	56 点	(11試合)
6	神田　友和	（北陸電力）	56 点	(12試合)
9	小澤　広太	（大崎電気）	55 点	(11試合)
9	白　元喆	（大同特殊鋼）	55 点	(12試合)
11	村上　秀行	（トヨタ紡織九州）	54 点	(10試合)
12	東長濱秀作	（湧永製薬）	52 点	(10試合)
13	志慶真龍我	（琉球コラソン）	51 点	(10試合)
14	落合　信也	（北陸電力）	49 点	(12試合)
15	呉　相民	（トヨタ紡織九州）	46 点	(11試合)
15	村山　裕次	（琉球コラソン）	46 点	(10試合)

《女子》

1	上町　史織	（北國銀行）	79 点	(9試合)
2	郭　惠静	（ソニー）	61 点	(9試合)
3	植垣　暁恵	（メイプルレッズ）	57 点	(9試合)
4	藤井　紫緒	（オムロン）	55 点	(7試合)
5	横嶋かおる	（北國銀行）	54 点	(9試合)
5	伊藤亜衣美	（バイオレットアイリス）	54 点	(9試合)
7	髙橋　恵	（ソニー）	51 点	(9試合)
8	高栖　由香	（ソニー）	42 点	(9試合)
9	髙田　裕梨	（オムロン）	38 点	(9試合)
10	洪　廷昊	（オムロン）	37 点	(9試合)
10	桂　裕美子	（バイオレットアイリス）	37 点	(9試合)
10	菅谷　美奈	（ＨＣ名古屋）	37 点	(9試合)
13	若松　里佳	（北國銀行）	36 点	(9試合)
14	工藤　麻衣	（ソニー）	34 点	(9試合)
15	仲宗根　彩	（北國銀行）	32 点	(9試合)

フィールド得点

1	末松　誠	（大同特殊鋼）	89 点	(12試合)
2	門山　哲也	（トヨタ車体）	77 点	(11試合)
3	今村　彰伸	（豊田合成）	64 点	(11試合)
4	武田　享	（大同特殊鋼）	56 点	(11試合)
4	中畠　嘉之	（トヨタ紡織九州）	56 点	(11試合)
4	神田　友和	（北陸電力）	56 点	(12試合)
7	小澤　広太	（大崎電気）	55 点	(11試合)
8	村上　秀行	（トヨタ紡織九州）	53 点	(10試合)
9	志慶真龍我	（琉球コラソン）	50 点	(10試合)
10	白　元喆	（大同特殊鋼）	48 点	(12試合)

1	郭　惠静	（ソニー）	61 点	(9試合)
2	上町　史織	（北國銀行）	58 点	(9試合)
3	横嶋かおる	（北國銀行）	54 点	(9試合)
4	伊藤亜衣美	（バイオレットアイリス）	43 点	(9試合)
5	高栖　由香	（ソニー）	42 点	(9試合)
5	植垣　暁恵	（メイプルレッズ）	42 点	(9試合)
7	髙橋　恵	（ソニー）	40 点	(9試合)
8	髙田　裕梨	（オムロン）	38 点	(9試合)
8	藤井　紫緒	（オムロン）	38 点	(7試合)
10	洪　廷昊	（オムロン）	37 点	(9試合)
10	桂　裕美子	（バイオレットアイリス）	37 点	(9試合)

シュート率　（フィールド得点ベスト10を対象）

1	末松　誠	（大同特殊鋼）	89点/121射	0.736
2	小澤　広太	（大崎電気）	55点/ 89射	0.618
3	志慶真龍我	（琉球コラソン）	50点/ 82射	0.610
4	村上　秀行	（トヨタ紡織九州）	53点/ 87射	0.609
5	門山　哲也	（トヨタ車体）	77点/132射	0.583

1	高栖　由香	（ソニー）	42点/ 48射	0.875
2	横嶋かおる	（北國銀行）	54点/ 69射	0.783
3	洪　廷昊	（オムロン）	37点/ 62射	0.597
4	髙田　裕梨	（オムロン）	38点/ 66射	0.576
5	上町　史織	（北國銀行）	58点/ 101射	0.574

７ｍスロー得点

1	銘苅　淳	（トヨタ車体）	22 点	(11試合)
2	村山　裕次	（琉球コラソン）	18 点	(10試合)
2	藤山　岳士	（トヨタ紡織九州）	18 点	(11試合)
4	東長濱秀作	（湧永製薬）	14 点	(10試合)
5	豊田　賢治	（大崎電気）	13 点	(11試合)

1	上町　史織	（北國銀行）	21 点	(9試合)
2	藤井　紫緒	（オムロン）	17 点	(7試合)
3	植垣　暁恵	（メイプルレッズ）	15 点	(9試合)
4	菅谷　美奈	（ＨＣ名古屋）	14 点	(9試合)
5	髙橋　恵	（ソニー）	11 点	(9試合)
5	伊藤亜衣美	（バイオレットアイリス）	11 点	(9試合)

７ｍスロー阻止率（７ｍスローを受けた数が、チームの試合数以上のＧＫが対象）

1	坪根　敏宏	（トヨタ車体）	9本/ 16射	0.563
2	吉田　耕平	（大崎電気）	5本/ 14射	0.357
2	東　佑三	（大崎電気）	5本/ 14射	0.357
4	松野　雅崇	（トヨタ紡織九州）	7本/ 20射	0.350
5	東　直明	（大同特殊鋼）	4本/ 12射	0.333

1	勝田　祥子	（オムロン）	6本/ 13射	0.462
2	家城　千香	（ＨＣ名古屋）	8本/ 19射	0.421
3	浅井友可里	（バイオレットアイリス）	4本/ 13射	0.308
4	近藤　澄江	（ＨＣ名古屋）	5本/ 17射	0.294
5	堂面　妙子	（メイプルレッズ）	4本/ 14射	0.286

第34回日本ハンドボールリーグ成績表　第14週終了　12月13日

順位	男子	大同特殊鋼	トヨタ車体	大崎電気	トヨタ紡織九州	湧永製薬	豊田合成	琉球コラソン	北陸電力	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	大同特殊鋼		30 ○ 23	24 ○ 19	35 28 ○ ● 29 29	32 29 ○ ○ 26 25	48 40 ○ ○ 24 19	35 37 ○ ○ 24 19	36 40 ○ ○ 23 24	12	11	0	1	22	414	284	130
2	トヨタ車体	23 ● 30		25 30 ● ○ 36 22	27 31 ● ○ 28 30	32 33 ○ ○ 30 26	30 ○ 24	33 30 ○ ○ 23 27	28 ○ 17	11	8	0	3	16	322	293	29
3	大崎電気	19 ● 24	36 22 ○ ● 25 30		30 28 △ ○ 30 26	21 ● 28	43 30 ○ ○ 18 19	34 ○ 27	28 24 ○ ○ 24 18	11	7	1	3	15	315	269	46
4	トヨタ紡織九州	29 29 ● ○ 35 28	28 30 ○ ● 27 31	30 26 △ ● 30 28		23 △ 23	40 ○ 21	36 ○ 28	30 32 ○ ○ 23 23	11	6	2	3	14	333	297	36
5	湧永製薬	26 25 ● ● 32 29	30 26 ● ● 32 33	28 ○ 21	23 △ 23		39 ○ 23	37 ○ 26	35 33 ○ ○ 17 16	10	5	1	4	11	302	252	50
6	豊田合成	24 19 ● ● 48 40	24 ● 30	18 19 ● ● 43 30	21 ● 40	23 ● 39		22 33 △ ○ 22 29	22 24 △ ○ 22 17	11	2	2	7	6	249	360	−111
7	琉球コラソン	24 19 ● ● 35 37	23 27 ● ● 33 30	27 ● 34	28 ● 36	26 ● 37	22 29 △ ● 22 33		33 ○ 29	10	1	1	8	3	258	326	−68
8	北陸電力	23 24 ● ● 36 40	17 ● 28	24 18 ● ● 28 24	23 23 ● ● 30 32	17 16 ● ● 35 33	22 17 △ ● 22 24	29 ● 33		12	0	1	11	1	253	365	−112

順位	女子	オムロン	北國銀行	ソニーセミコンダクタ九州	三重バイオレットアイリス	広島メイプルレッズ	HC名古屋	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	オムロン		25 21 ● ○ 30 19	27 36 ● ○ 28 21	23 ○ 16	33 36 ○ ○ 17 15	40 37 ○ ○ 11 14	9	7	0	2	14	278	171	107
2	北國銀行	30 19 ○ ● 25 21		33 23 ○ ● 27 31	29 30 ○ ○ 21 18	34 31 ○ ○ 28 22	37 ○ 16	9	7	0	2	14	266	209	57
3	ソニーセミコンダクタ九州	28 21 ○ ● 27 36	27 31 ● ○ 33 23		32 35 ○ ○ 20 28	45 ○ 26	42 42 ○ ○ 15 20	9	7	0	2	14	303	228	75
4	三重バイオレットアイリス	16 ● 23	21 18 ● ● 29 30	20 28 ● ● 32 35		27 21 ● ○ 28 15	30 31 ○ ○ 15 16	9	3	0	6	6	212	223	−11
5	広島メイプルレッズ	17 15 ● ● 33 36	28 22 ● ● 34 31	26 ● 45	28 15 ○ ● 27 21		36 33 ○ ○ 20 13	9	3	0	6	6	220	260	−40
6	HC名古屋	11 14 ● ● 40 37	16 ● 37	15 20 ● ● 42 42	15 16 ● ● 30 31	20 13 ● ● 36 33		9	0	0	9	0	140	328	−188

※この星取り表は、シーズン途中は試合数に関係なく、仮の順位で並び替えてあります。
　同勝点の場合は、1.対戦間勝点　2.対戦間得失点差　3.総得失点差　4.総得点　の多い順で順位付けしています。